衆議院内閣委員会ニュース

平成 22.10.29　第 176 回国会第３号

10 月 29 日（金）、第３回の委員会が開かれました。

１　内閣の重要政策に関する件、栄典及び公式制度に関する件、男女共同参画社会の形成の促進に関する件、国民生活の安定及び向上に関する件及び警察に関する件
・仙谷国務大臣（内閣官房長官）、蓮舫国務大臣（行政刷新担当、公務員制度改革担当）及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

塩　川　鉄　也君（共産）

・平成 22 年度補正予算案において、内閣官房が情報収集衛星の体制整備費として約 188 億円を計上している。そこで、情報収集衛星の目的を伺いたい。また、このデータを利用している省庁及びその利用実績を伺いたい。
・情報収集衛星の目的を、外交・防衛等の安全保障及び大規模災害等への対応等の危機管理のために必要な情報の収集としながら、情報収集衛星の基本方針等を検討する情報収集衛星運営委員会のメンバーに消防庁が含まれていないのはなぜか。結局は大規模災害等への対応というのは建前で、実態は偵察衛星なのではないか。
・衛星の設計寿命は５年とされているにもかかわらず、レーダ１号機２号機ともに、５年を待たずに運用障害が起きている。また、これまで情報収集衛星の研究開発の受注者である三菱電機株式会社には、防衛省、内閣官房、公安調査庁といった運営委員会のメンバー省庁の職員が、再就職をしている実態がある。これらを踏まえ、情報収集衛星予算そのものを見直すべきだと考えるが、仙谷内閣官房長官の見解を伺いたい。